

4月の支援事業

平成30年度の
支援事業が
始まりました♪

シニアサロン

これから始まる
平成30年度の活動内容
を一緒に考えました。



なかよしミックス



なかよしミックス

紙芝居や大型絵本を
楽しみました。
「だるまさんが」をみな
ながら、だるまさんと同
じポーズ!!
子どもたちの笑顔の花
が咲きました
(*^_^*)

「なかよしミックス」に遊びにきませんか!

就園前までのお子様と保護者の方が一緒に参加して親子で
楽しく遊ぶ集いの場です。

★第2回目の5月は、

日時 5月29日(火)10:00~12:00

5月30日(水)10:00~12:00

内容: じゃがいも掘りの体験 (対象: 2歳以上)

場所: 佐賀市金立公民館駐車場

持ってくるもの:

帽子、手袋(軍手)、シャベル、おしぼり、
お茶、おやつ、着替えなど

※掘ったじゃがいもは買い取れますので、小銭と袋を
準備してください。

※参加希望の方は事前にお電話を下さい。
(いずれの日も先着15組の親子)

平日の9:30~17:00にお願いします。

5月の「フリーデー」にもどうぞ!

日時: 5月15日(火)10:00~12:00

5月22日(火)10:00~12:00

場所: さんこう・ぽぽら

※事前の連絡は必要ありません。

お好きな時間にお出かけ下さい。

さんこう・ぽぽら
開放の時間帯について

【開園日】

○月~金

祝祭日・お盆・年末年始を除く

【時間】

○9:00~12:30

・園行事の為、ご利用できない場合

があります。

・出前支援の場合は、担当職員が

不在になります。

○12:30~13:30

昼休みの為閉園

○13:30~16:00

この時間帯のご利用の場合は、
電話での申し込みをお願い
いたします。

三光保育園: 31-6877



我が子を運動好きにするには?

この題目は、某社から出ている情報誌の今月の表紙を飾ったタイトルです。
子育て中のお母さんの中には、自分が運動を苦手だから、子どももきっと苦手のはず!
とあきらめている方がおられます。そんな方は「ちょっとお待ちください!」。
文部科学省が発表した「幼児期運動方針」には、幼児期は遊びを通して色々な体の動き
を体験して、脳が筋肉に指令を出して動きをコントロールする「運動コントロール力」を
つけることが大切だと書かれています。例えば、砂場で掘ったり運んだり持ったりする動
作や、滑り台を滑ったり、ボールをけったり投げたりよけたり・・・と、日常、外遊びを楽
しくしていれば育つ力です。何段もの跳び箱を跳べることや特定の運動だけに特化して運
動させることが運動能力を育てることではありません。自分から進んで体を動かし、色々
な遊びを楽しむことが幼児期には大切です。春、夏、秋、冬と自然の中で探索したり触れ
合ったりして、体を使って遊びましょう!
(三光保育園長)



「シニアサロンぽぽら」をご存知ですか?

地域子育て支援センター「さんこうぽぽら」では、月に1回地域の方におこし頂き楽しい
ひと時を過ごしています。お茶とお菓子を頂きながらおしゃべりをしたり、園児との交流を
楽しんだりして頂きます。奮ってご参加下さい。

日時: 5月18日(金)10時から12時

内容: 花の苗植えをしましょう!!

場所: さんこう・ぽぽら

※お電話でお申し込み下さい。31-6877



♪育児相談・食育相談をしています♪



三光保育園及び三光幼稚園では、育児・食育相談を受け付けています。お気軽にお申し込み
下さい。

※毎月第3火曜日の14時~16時までは、西九大短大部教員による、食育相談を行って
います。事前にお電話でお申し込みの上、ご利用下さい。(31-6877)

子育てだより

スロヴェニアの幼稚園・学校を訪問して

西九州大学子ども学部子ども学科教授 赤星まゆみ

西九州大学では、近年、海外の複数の大学との交流を行っていますが、その中に、スロヴェニアのリュブリャナ大学も含まれています。今年3月に2名の学生がその短期研修プログラムに参加しました。私も、学生とともに渡航し、リュブリャナ大学文学部日本語学科の先生方の協力を得て、幼稚園と学校教育についてのフィールド調査を行いました。



リュブリャナのシンボルはドラゴン。なかでも、一番有名なドラゴンは「竜の橋」のドラゴン。ドラゴンは力や勇気、大きさの象徴だそうです。

スロヴェニアは新しい国です。もとは旧ユーゴスラビアに属していましたが、1991年に独立しました。中欧の小さな国ながら2004年にはEUへの正式加盟を果たすとともに、2007年、通貨ユーロを導入しました。また、国境は、西のイタリア、北のオーストリア、北東のハンガリー、そして南のクロアチアと接しています。国の面積は20,273km²で、四国より大きい程度です。人口は約206万人です。その首都がリュブリャナで、人口は約28万人です。佐賀市の人口より少し多いようです。

国の北方向には、アルプスの山々と山麓地域というアルプス的世界が広がっています。スキー競技が盛んで、アルペン、ノルディックともに世界的な選手を生み出してきました。ノルディックジャンプの葛西紀明や高梨沙羅らの選手も合宿を張る地で、日本選手の知名度も高いそうです。国の南は、アドリア海に面します。

リュブリャナ市の中心部には、丘の上に中世城の面影を残すリュブリャナ城があり、そこから眺める町は赤い屋根で覆われて美しく、見る者の心を奪います。16世紀と19世紀には大きな地震があったそうですが、歴史的な町並みがしっかりと保存されています。

小国ながら、国土の自然的変化に満ち、古代から文化の交差点にあったため文化的な多様性にあふれた国となっているスロヴェニアを支える産業の主なものは、観光業と農業と言えるでしょう。農業の特徴は、地産地消と多品種少量生産を徹底している点にあります。たとえば、ワインの生産も盛んですが、質を追求したワインは量が少ないのでグローバルな流通には馴染まず、輸出されるのは10%程度で、ほとんどは国内で消費されるそうです。スロヴェニアに足を運んで初めて味わえるのです。小さな国がグローバル化の現代に生き残る理由を見せつけられた思いです。

そしてこの国のあり方は、幼い時からしっかりと培われていました。幼稚園や基礎学校（小学校と中学校）では、母語教育が重視され、食育に重点が置かれていました。給食は、国内の食材を使った（地産地消の）伝統食だそうです。しかも親の意見が尊重されています。隣国の美味のスパゲティやピザは、給食には出さないのだそうです。また、幼児期の多様性尊重の教育は、後に多言語の習得、グローバル化に対応する教育へと進展していきます。



リュブリャナ市中心部にある幼稚園の3-4歳児クラスの子どもたちは、とっておきの劇を演じてくれました。

食育便り

「子どもの病氣」

西九州大学健康栄養学部教授 石松 秀

すっかり春らしくなり、園庭は元気な子どもたちの声が響くようになりました。この春にはじめて保育園に入園されるお子さんもいるでしょう。保育園は、子どもにとっては初めての社会生活、集団生活の場となります。

さて集団生活に入ると、どうしても避けて通れないのが「病氣」です。この冬はインフルエンザが猛威を振りましたが、今シーズンは日本だけでなく、世界的にインフルエンザが大流行しました。また初夏から夏にかけては風疹、手足口病、ヘルパンギーナや伝染性紅斑（りんご病）など子どもの感染症が流行しやすい季節です。感染症以外でも、食物アレルギーや花粉症などをお持ちのお子様もいらっしゃるでしょう。

また最近では子どもの糖尿病も増えています。子どもの糖尿病というと、1型糖尿病*を思い浮かべることが多いのですが、運動不足や食生活の乱れから、2型糖尿病*も少なくありません。子どもにも肥満や生活習慣病が増えています。

糖尿病とは関係なく、園でときどきみられるのが「低血糖」です。血糖（血液中のブドウ糖）は、ヒトのエネルギーです。普段ヒトの血糖値は70~150 mg/dLに保たれていますが、これが70 mg/dL以下になると、体内では血糖値を上げようとする様々な仕組みが働きます。それでも血糖値が下がると「低血糖症状」が表れます。低血糖症状は、元気がなくなったり、グッタリしたり、落ち着きがなくなったり、手や指のふるえ、顔面や唇が蒼白になったり、生汗をかいたり。いよいよ重症になると意識を失ったり、けいれんを起こすこともあります。低血糖の原因は、糖尿病患者さんであれば、あまり食事を取らずに、いつも通り糖尿病の薬を飲んだりインスリン注射をしたことが原因になることが多いです。でも健康な園児にも低血糖がときどきみられます。その原因の多くは、ご家庭での食にあるようです。子どもは大人と違って、体内にエネルギーの蓄えが少ないです。そのため朝食を食べずに登園して、園で一生懸命遊んだりするとお昼前にはエネルギー不足になってグッタリすることがあります。これが低血糖です。朝食抜きはいけないと思って、朝は甘いパンやジュースだけで送り出すのも心配です。甘いパンやジュースなどは血糖値が上がりやすいのですが、一方ですぐに下がることもあります。低血糖の場合、ジュースや糖分を飲ませてあげると、ウソのように元気を取り戻します。忙しい時間帯ですが、朝食もバランスの良い食事を食べてもらって、園に送り出してあげてください。

* 1型糖尿病と2型糖尿病：糖尿病には、1型と2型があります。1型はある日突然膵臓からインスリンという血糖値を下げるホルモンが出なくなるものです。2型糖尿病は、肥満や生活週間の乱れが長年続くことで次第にインスリンの効きや分泌量が落ちることで、血糖値が上がるものです。